

システム開発のケーシーエス（水戸市谷津町、金沢博之社長）は20日、社員の新型コロナウイルスワクチン接種促進に向け、接種時に取得できる有給の特別休暇制度を制定したと発表した。21日から水戸市で65歳以上の接種予約受け付けが始まるのを前に、20日に運用を開始した。

契約社員などを含む全ての社員

ワクチン接種に 特休制度を制定

ケーシーエス

が対象。2回の接種日に加え、頭痛や発熱などの副反応があり、勤務が難しい場合も日数の制限なく取得できる。勤務時間中に接種する場合は、勤務を中断した時間も勤務扱いとする。

同社は「現状の感染防止策ではワクチン接種が一番有効。（接種を希望する社員を）しっかりサポートしていきたい」としている。

ワクチン接種に休暇

副反応あれば無期限

水戸市のシステム開発会社「ケーシーエス」は20日、新型コロナウイルスの接種を受ける際、有給の特別休暇を取得できる制度を始めた。対象は社員や

水戸の会社

契約社員ら全従業員約190人で、副反応があった時は無期限の休暇を認める。

特別休暇は接種当日の1日で、副反応が出た場合は体調が回復するまでとする。2回目の

接種でも同様の休暇を認め、通常の有給休暇とは別枠に位置づける。勤務日に業務を中断して接種を受けた場合は、接種に費やした時間も勤務時間とみなす。

同社の担当者は「感染拡大を防ぐためには接種が広まることが重要。平日に接種できる会社があれば、休日の混雑で『密』になることも防げる」と話した。同社には65歳以上の契約社員がおり、今後の接種で新制度を使う見通しだという。

ワクチン接種に休暇制度

ケーシーエス 休日への集中防ぐ

ソフトウェア開発を手掛けるケーシーエス（水戸市）は、新型コロナウイルスのワクチン接種日に取得できる特別休暇制度を設けた。

特別休暇は有給で、通常の有給休暇とは別に付与する。社員がワクチン接種しやすい環境を整えるとともに、接種の休日への集中を防ぐ狙いだ。

勤務時間中に勤務を中断して接種を受ける場合は中断時間も勤務扱いとする。接種後の副作用で勤務が困難な場合には、回復するまで休暇を付与する。同社は、本社ほか宇都宮市と都内に支社を置き、全社員約190人が対象となる。

水戸市では6月7日から高齢者向けの個別・集団接種が始まる。その後一般接種が始まれば平日の日中を避けて夜間や休日に希望者が集中する恐れがある。

市の担当者は、同社の取り組みについて「大変ありがたい。ほかの企業にも広がってほしい」（商工課商工労政係）と話す。3月には市から市内の業界団体宛てに従業員のワクチン接種への配慮として特別休暇の創設などを求める文書を送付していた。